

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

2022-2023年シーズン 第5週(1月30日~2月5日)

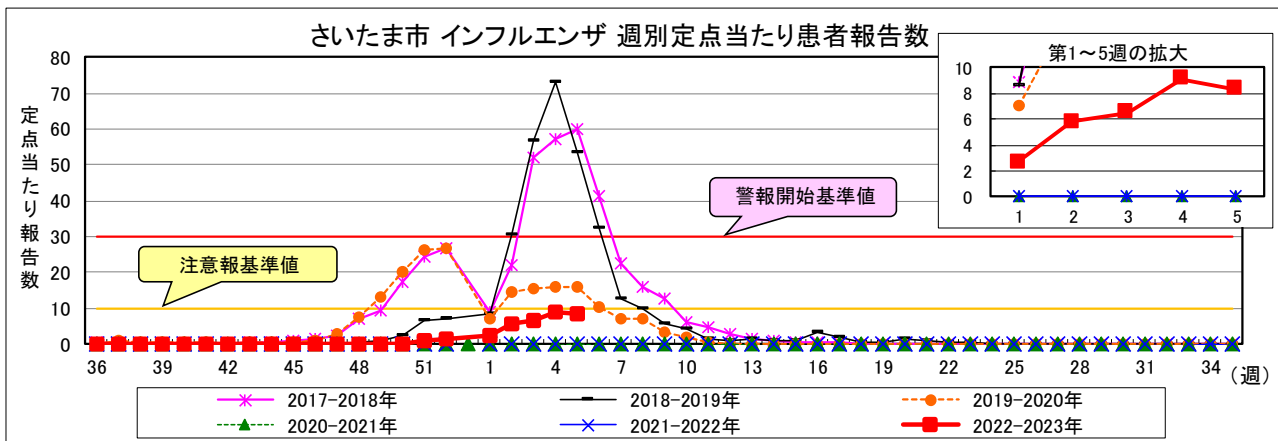
※さいたま市では小児科・内科診療を行っている41か所の定点医療機関の協力によりインフルエンザの流行状況を把握しています。また、基幹定点医療機関(1か所)の協力によりインフルエンザによる入院患者の発生状況を把握しています。

市内のインフルエンザ患者報告状況

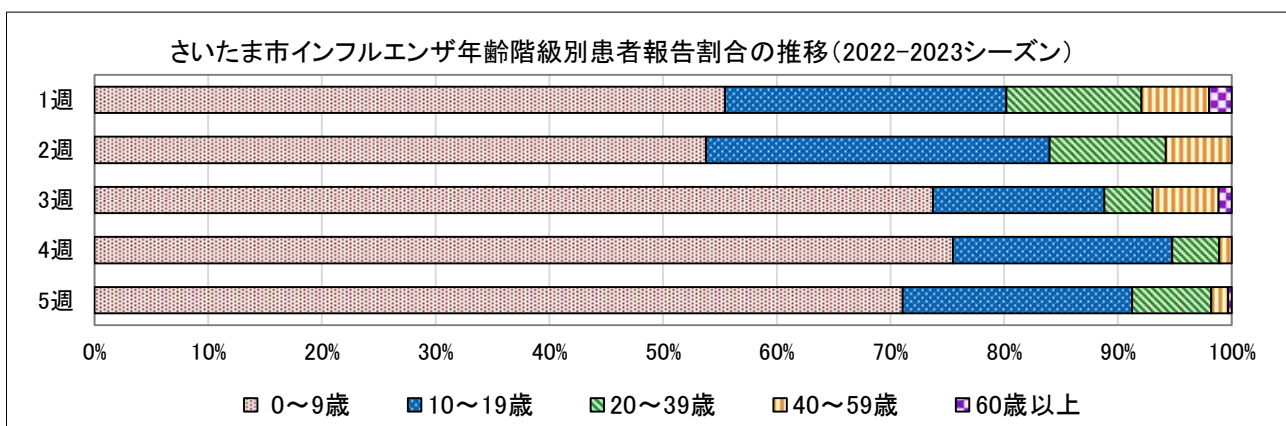
定点医療機関からの患者報告数は332人、定点当たり報告数は先週の9.08人から8.30人とやや減少しましたが、全国では第4週(1月23日~1月29日)の定点当たり報告数が10.36人と注意報レベル(定点当たり報告数10人以上)となっています。

基幹定点医療機関からの入院患者の報告はありませんでした。

引き続きインフルエンザの予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケットを励行し、体調の悪いときは無理をせず早めに休養しましょう。



※インフルエンザは通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、9月から翌年の8月までを1シーズンとして、グラフを作成しています。



★令和5年2月7日13時現在の速報です。